

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	山口直美（1・2年複式担任）齋藤卓弥（3・4年複式担任）早坂峻（4年TT） 齋藤咲花（5年担任）阿部秀憲（教務主任兼特別支援学級担任）

1. 単元計画

1-1. 単元名

海を知る「たっぷり調べよう」

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活、社会、総合

1-4. 単元の概要

<p><海の観察></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつ【生活】 ・気付いた変化を文章にまとめ、記録化する。 <p><森の散策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備中の森を日常的に散策することで、木々がもたらす様々な恩恵に気付くことができる。【生活】 <p><雄勝の漁業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内を巡り、各地区の海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べる。【生活・社会・総合】 ・気付いたことや分かったことを文章や絵にまとめる。【総合】

1-5. 単元設定の理由・ねらい

<p>本校は雄勝半島全域が学区であり、学校前には砂浜や磯、近隣には漁港が点在している。地域産業である漁業従事者の他、漁業協同組合や伝統工芸品の雄勝硯組合に従事している方々も多い。また、無形文化財である雄勝法印神楽が浜祭り等で奉納されるなど、震災後も脈々と伝統芸能が継承されている。それら雄勝のよさの中でも特に海にこだわり、海をフィールドにした体験活動を通して、主体的で深い学び（探究活動）へと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育むことをねらいとしている。</p>
--

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> ・海をフィールドにした体験活動（遊び）を通して、様々な問いや疑問が生まれ、探究的で深い学びへと発展すると期待できる。 ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで雄勝を誇りに思う気持ちが醸成され、ふるさとを愛する心情が育まれると期待できる。 ・身近な海を見る視点や感じる心が育つとともに、行動しようとする意欲の高まりに伴い、雄勝の海との関わりの中で自分が果たせる役割について考えようとする心情が醸成されると期待できる。
--

1-7. 単元の展開（全10時間）※「海の観察」「森の観察」は時数に含めない。

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 / 外部連携 / 使用教材等
	海の観察	【活動時期】 年間を通して
時数なし	<p>◇学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつ。</p> <p>①海の様子を観察する。</p> <p>②観察で気付いたことや疑問に思ったことなどを友達と話し合う。</p> <p>③関心をもったことを各自で調べる。</p>	<p>準備 (双眼鏡など)</p> <p>指導 観察している子どものつぶやきをとらえ、全体へと広め関心をもたせる。</p> <p>評価 学校から見える海の様子を日常的に観察することで、季節や天候による海の変化に関心をもつことができたか。</p>
	森の観察	【活動時期】 年間を通して
時数なし	<p>◇整備中の森を日常的に散策することで、木々がもたらす様々な恩恵に気付くことができる。</p> <p>①森を散策する。</p> <p>②散策で気付いたことや疑問に思ったことなどを友達と話し合う。</p> <p>③関心をもったことを各自で調べる。</p>	<p>指導 散策中の子どものつぶやきをとらえ、全体へと広め関心をもたせる。</p> <p>評価 森を日常的に散策することで、木々がもたらす様々な恩恵に気付くことができたか。</p>
	雄勝の漁業～大須（おおす）地区～	【活動時期】 7月
5	<p>◇学区内を巡り、各地区の海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べる。</p> <p>◇気付いた変化を文章にまとめ、記録化する。</p> <p>①画像を見て、気付いたことや調べてみたいと思ったことなどを伝え合う。（朝活動を利用）</p> <p>②大須崎灯台で地区の方からお話を聞く。</p> <p>③たてわり班に分かれ地区内を散策する。見学したり地区住民に話を伺ったりしながら、大須地区について調べる。</p> <p>④係留している船や漁港にある物品を見学し、大須漁港の特徴について調べる。</p> <p>④調べた結果を文章や絵にまとめる。（後日）</p>	<p>準備 記録用紙、筆記用具、救急セット</p> <p>外部 地区の方々</p> <p>指導 活動前に地区の方へ趣旨を説明し、活動への協力を呼び掛ける。また、見学させていただいた方やお話を伺った方へ感謝の気持ちを伝えるようする事前指導を行う。</p> <p>たてわり班に分かれる際は、教員1名以上が同行し、安全管理を確実にを行う。</p> <p>評価 地区を巡り、海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べることができたか。気付いたことや分かったことを文書や絵にまとめることができたか。</p>
	雄勝の漁業～名振（なぶり）地区～	【活動時期】 9月
5	<p>◇学区内を巡り、各地区の海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べる。</p> <p>◇気付いた変化を文章にまとめ、記録化する。</p> <p>①画像を見て、気付いたことや調べてみたいと思ったことなどを伝え合う。（朝活動を利用）</p> <p>②名振浜で地区の方からお話を聞く。</p> <p>③名振浜を散策する。石の形やシーグラスなど、学校前浜と比較しながら採集活動をする。</p> <p>④係留している船や漁港にある物品を見学し、名振漁港の特徴について調べる。</p> <p>④調べた結果を文章や絵にまとめる。（後日）</p>	<p>準備 記録用紙、筆記用具、救急セット</p> <p>外部 地区の方々</p> <p>指導 活動前に地区の方へ趣旨を説明し、活動への協力を呼び掛ける。また、見学させていただいた方やお話を伺った方へ感謝の気持ちを伝えるようする事前指導を行う。</p> <p>たてわり班に分かれる際は、教員1名以上が同行し、安全管理を確実にを行う。</p> <p>評価 地区を巡り、海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べることができたか。気付いたことや分かったことを文書や絵にまとめることができたか。</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ



単元 10 時間中の 6、7、8 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4、5 時間目

2-2. 本時の目標

- 学区内を巡り、各地区の海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べることができる。
(名振地区)

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本日の活動について知る。 市バスに乗車し活動先 (名振地区) へ移動する。</p> <p>2 地区の方からお話を聞く。</p> <p>① あいさつをする ② 名振地区についてお話を聞く ③ 質問する</p> <p>3 名振浜を散策する。 石の形やシーグラスなど、学校前浜と比較しながら採集活動をする。</p> <p>4 係留している船や漁港にある物品を見学し、名振漁港の特徴について調べる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>5 活動を振り返る。</p>	<p>※活動前に地区の方へ趣旨を説明し、活動への協力を呼び掛けておく。</p> <p>◇乗車前に持ち物とトイレの確認を行う。たてわり班ごとに乗車する。</p> <p>◇教師及び活動補助者の役割を確認し配置に就く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【当日の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体指示：総合担当 ・ 安全管理：各担任 ・ 状況把握：教頭 ・ 特別に支援を要する児童対応：支援員 2 名 ・ 救急：養護教諭 ・ 緊急車両：教頭 </div> <p>◇高波等の危険も想定しながら安全管理を徹底する。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>評 <u>地区を巡り、海の様子や人々の暮らし、漁業の特徴などについて調べることができたか。</u></p> <p>◇活動前の約束が守れたか、怪我の確認と合わせて振り返らせる。</p> <p>◇活動補助者として協力いただいた保護者の方々へ感謝の思いを伝えさせる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ◎ 単元に入る前に、朝の活動時間を利用して、名振地区に住む児童によるプレゼンの時間を設けた。プレゼンする側にとっては、紹介するために地区を深く見つめ直す機会となり、聞く側にとっては、友達が紹介してくれた地区へ行ってみたいと意欲を喚起する時間となった。他の地区においても、同様にプレゼンを取り入れていく予定である。
- ◎ 地区の方として、今回は保護者に協力をいただくことができた。学習の趣旨を理解していただき協力いただくことで活動に深みと広がりが増すことから、今後も学校だよりや学校ホームページ等で広報活動を続けていきたい。
- ◎ 今回初めて名振地区を訪れた児童も多く、普段慣れ親しんでいる学校前浜と比較しながら、石の形や漂着ゴミなどを興味深く調べる姿が見られた。中には、学校に持ち帰ってさらに調べてみたいという声も聞かれた。
- ▲ 海の状況は刻々と変化するため、絶えず波の高さや風向きに気を配る必要がある。万が一の避難誘導等も含め、全職員が自分の判断で動くことができるよう意識を高めていく。

4. 今後の課題

- ・ 教師が各地区の特徴や人々の暮らしなどについて知っておくことで、学習の展開がスムーズになる場合もある。巡視等の機会を利用して各地区を訪れながら、保護者をはじめ地区の方とのつながりを大切にしていきたい。
- ・ 昨年以来、分浜・大須・雄勝中央・名振の4地区を訪問してきたが、それぞれを「点と点」としてとらえている児童が多く見られる。そこで各地区の位置関係を、「線や面」として視覚的にとらえさせる手立てを考えていきたい。例として、学区マップに気付いたことを書き込んだり撮影した写真を貼り付けたりしていくなど、複数年にわたって追求していく本校のスタイルにあった全体共有の手立てについて検討していきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ コロナ禍において校外での学習を進めるにあたっては、衛生面だけでなく地区住民の心情に配慮する必要がある。活動前に地区会長をはじめ地区の方へ趣旨を説明し、活動への理解と協力を呼び掛けておくことが大切である。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。